

報 告 書

(三浦班)

開 催 日 時	令和元年 10 月 9 日 (水) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	美川公民館	
出 席 議 員	佐々木 豊治、上野 茂、小川 稔宏、川上 幾雄、 三浦 大紀、(副議長) 田畑 敬二	
	司会者	三浦 大紀
	ファシリテーター	佐々木 豊治、上野 茂、 小川 稔宏、川上 幾雄
	記録者	佐々木 豊治、上野 茂、 小川 稔宏、川上 幾雄
参 加 人 数	16 人	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	<p>【健康・福祉・教育/安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が高い。安くないのか。 ・子どもの数が少ない。子供を増やす方法はないか。 ・防犯・防災対策・防災無線放送が聞きにくい。マニュアルはできているが分かりにくい。 ・高齢者の低速運転が危ない。不安を感じる。 ・周布線道路の整備（沿線の植え込み、樹木の伐採など）をしてほしい。 ・子育てする環境（自然や環境、人権、文化）など素晴らしいところだが、若い子育て世代が減少している。 ・世帯の高齢化が進行し、防災に対する機能強化に問題がある。 ・緊急や防災に対する放送や、車からの放送がされるが、室内では聞こえにくい。 ・街路灯の整備をしないと子どもの帰りが心配。 ・避難場所は、本当に公民館でよいのか。検証が必要では。 ・介護認定地域の民生委員やケアマネの意見を聞いているのか。 	

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美川地区子どもの数が少ない、子育てプロジェクトを目指して何とかならないか。 ・浜チャレはいいことで、介護認定も下がる。もっと盛り上げてほしい。 ・高齢化により地域の連帯感が薄れている。弥栄は充実している。 ・防災機能があるのに動かない人が多い。 ・桜並木の整備はうれしいが、三隅への道は整備不十分。
	<p>【産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが不足。農林業支援センターの活動を活発化 ・環境を悪化する産業は不要。住環境を大切にできる産業が欲しい。 ・産業は、環境保全を前提とするべき。 ・跡地利用、放棄地を活用するゴルフ練習場を作る。そして、まちづくり組織で運営は有効。 ・社会福祉や介護等の施設誘致で雇用を。 ・終活の場として活用。山・川・田と環境は良い。地域には病院もある。 ・施設があっても商店が不足している。 ・旧市長は「美川福祉ゾーン」の案を出していたが現在は違う。再考も必要。 ・先を見通すデータを提示し、住民が検討する。 ・砕石等の自然破壊につながる産業は歓迎しない。 ・周布川の河川堆積土を川砂利・川砂として販売できないか。 ・河川の浚渫（しゅんせつ）ができ流れがスムーズになり災害予防になる。 ・河川内の立木や葦を除去してスムーズな流れを確保すべき。 ・休耕作地が増えている。耕作者の確保を行政でリードしてほしい。

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の補助金（中山間地直接支払い、農地水）。高齢になると途中でやめなければならない。 ・農地管理はいつまでもできない。共同活動も無理になる。色々な情報が欲しい。 ・林業は財産と捉え当面の産業化は見送る。 ・未来への財産（子供たちへ）成長を待ち高価格販売できる時期を待つ。今は無理、いつか伐採する。 ・風力発電設置に問題あり反対する。そして情報公開を求める。 ・自然保護と人間の生命の健全確保を基にしたの電力設置。
	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなバスが空で走っているのはどうか。バス停までの距離も問題。小型バスで小回りの利く送迎が必要。 ・店がないため高齢者が買い物できない。草刈り等の人がだんだん少なくなっている。行事の維持が難しくなる。 ・上内田集会所の道路（木田7号）傾斜、亀裂を直してほしい。上内田少し下がったバイパス、熱田に下がるカーブの木がトンネルのように茂っていて危ないので切ってほしい。 ・なるべく公共交通を使う意識改革も必要。人口減少対策に必要な「産業振興」が市民憲章から削除されているのは問題。 ・木田21号線カーブのところのセンターラインが消えている箇所があり危険。道路パトロールは雨の日にもすべきだ。 ・高齢者の移動手段確保に、補助金を出しているのだから、バス停を増やしたり、ルートやバス停の位置を変えるなど乗る人を増やす工夫、経営努力をすべきだ。

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用促進住宅の家賃を安くし、子育て世代への負担軽減策が必要。 ・外国人を対象にした休耕田の無償貸与の検討をしてはどうか。 ・市街地に立てず美川に住宅をつくる
	<p>【学校統合について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四中廃校に反対。市教育委員会の言っている金がないからに引っ付けるコストパフォーマンスに感じる。金ではない。学年の人数割り振りは都市部を考えている。少人数で教育を受けたい人もいる。言って聞かせる時代になっている。生徒数が多いからいいという理論はおかしい。 ・建物を建てるのは行き当たりばったりではないか。とりあえず三中とのとだが、二中也近くどっちが正しいか。笠柄から長浜に行きたい人もいる。校区の基準がグレー。白なら白、黒なら黒にしてほしい。美川まで通わせたい人もいると思う。ルール改正ができないか。 ・家は親の都合でその場所に建てた。おじいちゃんの実家の近くに安全だから通わせたい親もいる。 ・金がないのかやり方が雑。 ・四中統合に反対。子供にダメージがある。答申に疑問。部活動をしたくない子もいればそうでない子もいる。 ・人には学力プラス人間力が大切。自己肯定感も持てるようになってほしい。子供にとって良い環境は違う。美川に引っ越してきて、三階にいた時とは子どもが違ってきた。環境の変化で良くなった。 ・反対、教育委員会は一貫校については考えていないと言われた。新聞に最下位とでた。教育力を上げれば美川に来るのではないか。統合は一桁になってから。 ・少人数を認めてもらいたい。学校がなくなれば地域が壊れる。

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校には小規模校の文化がある。その良さを尊重すべき。 ・中学校の保護者は、関心が薄いように感じる ・個人の考えがあり、多様性の時代でもある。学校規模を統一的に配置するのではなくて、浜田市の教育環境は大もあれば小もあるようにしてほしい。総合学習を存続してほしい。 ・学校コーディネーターの人は地域の子どもから元気をもたらしていると言われていた。 ・残せるものなら残してほしい。無くなれば定住する人が少なくなる。 ・統合するなら、何年先とか具体的なものを示してほしい。特徴を持った学校に。 ・生徒にとっての環境を。少なくて本当に良いのか。反対の反対ではいけないと思う ・地元の意見も聞いてほしかった。突然統合の事が新聞に載った ・迷っている。メリット。デメリットがあり判断が難しい。今日は人の意見を聞けてよかった ・もっと保護者の意見を出してほしい
-----------------	--

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 10 月 18 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

三浦 班

代表者 三浦大紀